



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)神大寺1丁目プロジェクト新築工事	階数	地上3F
建設地	横浜市神奈川区神大寺1丁目790-1、790-2	構造	RC造
用途地域	第2種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	58人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店、病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 竣工	評価の実施日	2019年8月2日
敷地面積	2,980 m ²	作成者	山田 大
建築面積	1,308 m ²	確認日	2019年8月2日
延床面積	2,756 m ²	確認者	宮口知泰



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 参考値: 100%
 建築物の取組み: 95%
 上記+ 以外の: 95%
 上記+: 95%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項

総合	その他
横浜市神奈川区に計画されたサービス付高齢者向け住宅である。建物の外皮性能を高めて熱負荷を抑制するとともに、節水器具を積極的に採用する等、環境負荷の低減に配慮している。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
	・一床あたりの室面積を十分確保する計画である。 ・耐用年数の長い内装材や配管材を採用し、建物の耐用性向上を図っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
・外皮の高断熱化を図り、熱負荷抑制による環境負荷の低減を図っている。	・節水器具・リサイクル材の採用により、資源の保護に配慮している。
	LR3 敷地外環境
	・駐車・駐輪スペースを十分確保し、転回スペースを設ける等周辺の渋滞緩和に配慮した計画である。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

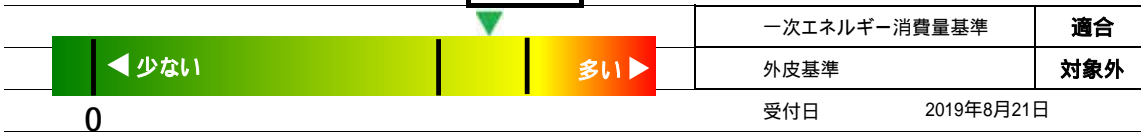
各項目について配慮した内容を、該当する番号(~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)神大寺1丁目プロジェクト
新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 %削減



エネルギー対策 (建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用 設備システムの高効率化 効率的運用)
建物の外皮性能を高め、熱負荷抑制を図っている。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 2

室内環境対策 (温熱環境対策 光環境 空気質環境)

機能性対策 (機能性 知的生産性向上の取組)

室外環境(敷地内)対策 (敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

耐用性・信頼性 (耐震・免震 部品・部材の耐用年数向上 信頼性)

耐用年数の長い材料を採用し、建物の耐用性向上を図っている。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

室外環境(敷地内)対策 (生物環境 まちなみ・景観 地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギー・マネジメントシステム以外)

エネルギー・マネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 (仮称)神大寺1丁目プロジェクト新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.5
Q1 室内環境										2.2
1 音環境										2.4
1.1 騒音				2.4	0.15	2.5	1.00			2.4
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	0.40			-
1 開口部遮音性能				2.5	0.40	2.8	0.40			-
2 界壁遮音性能				3.0	0.56	3.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				2.0	0.44	3.0	0.30			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				-	-	2.0	0.20			-
2 温熱環境				1.0	0.20	1.0	0.20			-
2.1 室温制御				1.6	0.35	1.7	1.00			1.7
1 室温	快適・働きやすさ		温熱環境	2.3	0.50	2.5	0.50			-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	温熱環境 外皮性能	2.0	0.41	3.0	0.57			-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ		温熱環境	2.0	0.23	2.0	0.43			-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		温熱環境	3.0	0.36	-	-			-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		温熱環境	1.0	0.20	1.0	0.20			-
3 光・視環境				1.0	0.30	1.0	0.30			-
3.1 昼光利用				1.8	0.25	3.1	1.00			2.3
1 昼光率	快適・働きやすさ		光環境	2.1	0.35	2.4	0.30			-
2 方位別開口	快適・働きやすさ		光環境	1.0	0.44	2.0	0.60			-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		光環境	-	-	-	-			-
3.2 グレア対策				3.0	0.56	3.0	0.40			-
1 昼光制御	快適・働きやすさ		光環境	2.0	0.22	4.0	0.30			-
3.3 照度	快適・働きやすさ		光環境	2.0	1.00	4.0	1.00			-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		光環境	3.0	0.11	3.0	0.15			-
4 空気環境				1.0	0.32	3.0	0.25			-
4.1 発生源対策				2.7	0.25	2.8	1.00			2.7
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		空気環境	3.0	0.50	3.0	0.63			-
4.2 換気				3.0	1.00	3.0	1.00			-
1 換気量	快適・働きやすさ		空気環境	2.0	0.30	2.6	0.38			-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		空気環境	-	-	4.0	0.33			-
4.3 運用管理				1.0	0.50	1.0	0.33			-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		空気環境	3.0	0.20	-	-			-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		空気環境	-	-	-	-			-
Q2 サービス性能				3.0	1.00	-	-			-
1 機能性				-	0.30	-	-			3.1
1.1 機能性・使いやすさ				2.7	0.40	4.2	1.00			3.3
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		機能性	3.0	0.40	5.0	0.60			-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		機能性	-	-	-	1.00			-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		機能性	-	-	-	-			-
1.2 心理性・快適性				3.0	1.00	-	-			-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		機能性	2.7	0.30	3.0	0.40			-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		機能性	1.0	0.09	3.0	0.50			-
3 内装計画	快適・働きやすさ		機能性	2.0	0.09	-	-			-
1.3 維持管理				3.0	0.82	3.0	0.50			-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		機能性	2.5	0.30	-	-			-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				2.0	0.50	-	-			-
2.1 耐震・免震				3.0	0.30	-	-			3.0
1 耐震性	防災		耐震・免震	3.0	0.50	-	-			-
2 免震・制振性能	防災		耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.20	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数	防災		部品・部材の耐用年数向上	3.4	0.30	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備	防災		信頼性	2.8	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備	防災		信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 電気設備	防災		信頼性	2.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法	防災		信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備	防災		信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				3.0	0.20	-	-			-
3.1 空間のゆとり				3.1	0.30	2.4	1.00			2.8
1 階高のゆとり				3.4	0.30	1.8	0.50			-
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.60	1.0	0.60			-
3.2 荷重のゆとり				4.0	0.40	3.0	0.40			-
3.3 設備の更新性				3.0	0.30	3.0	0.50			-
1 空調配管の更新性				3.0	0.40	-	-			-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-			-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 (仮称)神大寺1丁目プロジェクト新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.2		
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	3.0		
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.0		
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.0		
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	5.0		
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	設備システムの高効率化	2.4	0.50	-	-	2.4		
4 効率的運用				2.5	0.20	-	-	2.5		
	集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	-		
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	効率的運用	2.0	0.50	-	-	-		
	集合住宅の評価			-	-	-	-	-		
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	効率的運用	-	-	-	-	-		
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	効率的運用	-	-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.1		
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4		
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-		
	1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-		
	2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				3.1	0.60	-	-	3.1		
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.22	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0		
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-		
	1 消火剤			-	-	-	-	-		
	2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	-		
	3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.9		
1 地球温暖化への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2		
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-	2.4		
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-		
	1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-		
	2 污水处理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-		
	3 交通負荷抑制			4.0	0.25	-	-	-		
	4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-		
	1 騒音			3.0	1.00	-	-	-		
	2 振動			-	-	-	-	-		
	3 悪臭			-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-		
	1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-		
	2 砂塵の抑制			-	-	-	-	-		
	3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	-		
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			4.0	0.70	-	-	-		
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-		

上記以外の重点項目							
<事務用途>							
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-
<住宅用途>							
健康と安心							
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	健康対策	-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	健康対策	-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	健康対策	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	防犯対策	-	-	-	-	-